

第 回 段 位 認 定 試 験

珠 算

受 験 票

(試 験 日) 年 月 日

(時 間) 時 分

(試 験 場) _____

受験番号

氏 名

1. 本票の番号と同じ番号の席に着席すること。
2. 本票は認定証及び証明書を受け取るときに必要です。

◎試験場への行き帰りは交通規則をよく
守り、事故のないよう注意しましょう。

段位認定試験受験者への注意

1. 答案記入上の注意

- ① 答は、定められたらんの中にはっきりと書くこと。
- ② 答の1の位または円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」をつけること。
- ③ 無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 0.25 1,427.39 2,905,406

- ④ 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595·····	0.460 0.46
5.2004·····	5.200 5.2

- ⑤ 端数の処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) そろばん面 答
0.45····· 0.45
5.2 ····· 5.2

- ⑥ 名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) ¥9,528 ¥9,528. 9,528

[注] 答の頭には、円の記号(¥)をつけるのが原則であるが、つけなくてもよい。

- ⑦ 答をたてに書いたり、二段に書いたりしないこと。
- ⑧ 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- ⑨ 答を書き直す場合、定められたらんの中に書けないときにはらん外に書いて、答の頭にその問題の番号を○または()でかこむか、そのらんまたはその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- ⑩ コンマや小数点は、数字のあいだに書き、数字にふれたり、数字にかさならないようにすること。
- ⑪ 同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。

2. その他の注意

- ① 計算開始の合図があるまでは、文ちん・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- ② 計算開始の合図があるまでは、問題用紙をおらないこと。
- ③ アラーム時計を使用するときは音を出さないようにすること。
- ④ 珠算種目であっても、そろばんを使用しないで計算してもさしつかえない。
- ⑤ 受験票を紛失したり、忘れていたりするような場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- ⑥ 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。